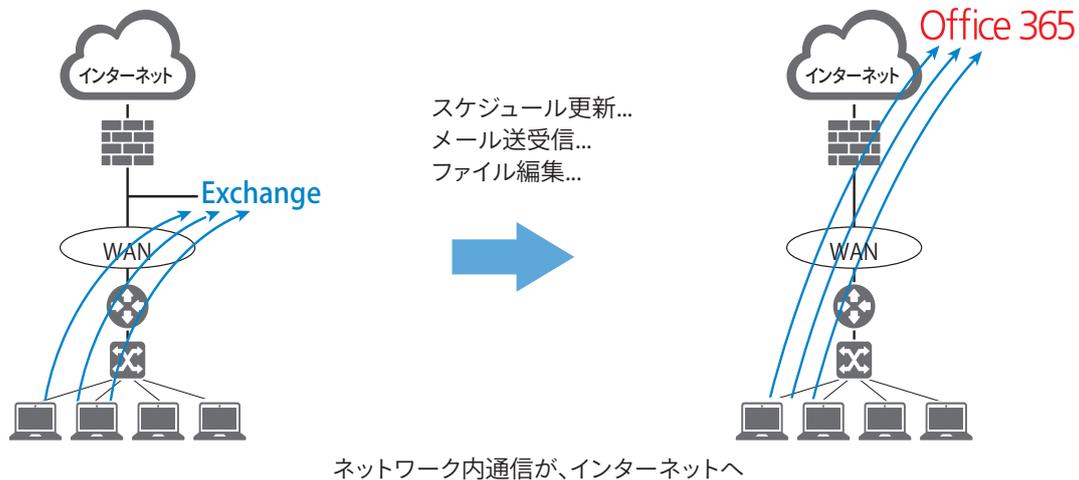


Office 365利用におけるネットワーク負荷対策

クラウドベースのオフィスアプリケーションとして、業界をリードしているMicrosoft社の「Office 365」を利用することにより、インターネットを介するトラフィックは劇的に増大します。多くの企業は、インターネット向けの通信でプロキシによるセキュリティ制御を行っていますが、Office 365を利用することで、このプロキシへの負荷が増加し、最悪の場合、アプリケーションが使用できなくなるなどして、業務に影響を与えてしまいます。ハイパフォーマンスなA10のThunderシリーズを導入することで、この負荷を効率よく軽減し、快適なOffice 365環境を構築することができるようになります。

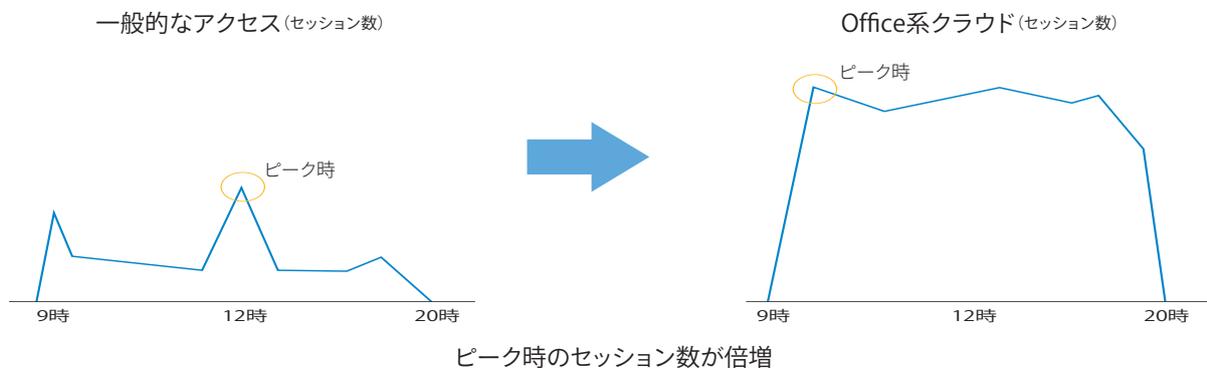
通信トラフィック傾向の変化

従来の企業アプリケーションは、プロキシ等でセキュリティを確保した自社ネットワーク内に設置されたサーバーを利用していました。Office 365はクラウドベースのアプリケーションであるため、今までローカルで行われていたOfficeソフトウェア上でのスケジュール更新やファイル編集などが全てインターネットを介して行われるようになります。このため利用の際は、ローカルのネットワークとインターネットの間に設置されたプロキシを必ず通る通信が発生します。



利用環境に問題が発生する可能性

Office365を使用することにより、プロキシを介してインターネットへ出ていく通信セッション数が、従来のアプリケーション利用で想定していたものより増加します。またピークが現れる時間帯も従来よりも増える傾向にあり、プロキシへの負荷が上がっていきます。プロキシへの負荷が上がることにより、「インターネットが遅い」、「メールが取れない」、「予定表が開けない」など、通常の業務に影響が出てしまう可能性も増加します。

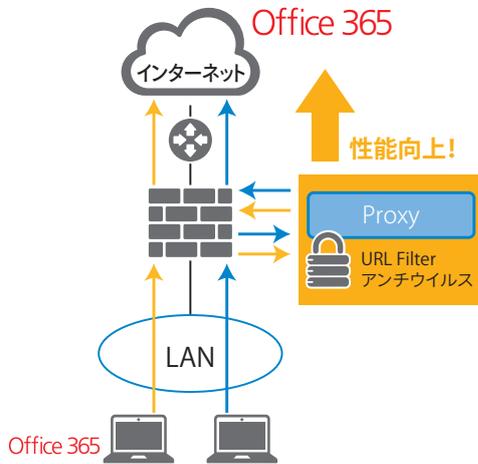


インターネットへ抜けるセッション数の増加

利用環境の問題は、プロキシへ集中する通信セッション数の増加による可能性があります。実際の利用時には、1ユーザーで30セッションを超える場合もあると言われていたため、セキュリティのために設置されたプロキシ製品がボトルネックになる可能性があります。これを回避するためには、ネットワークの構成やプロキシ製品を見直す必要があります。これにはいくつかの改善例があります。

改善案1: プロキシ製品の増強

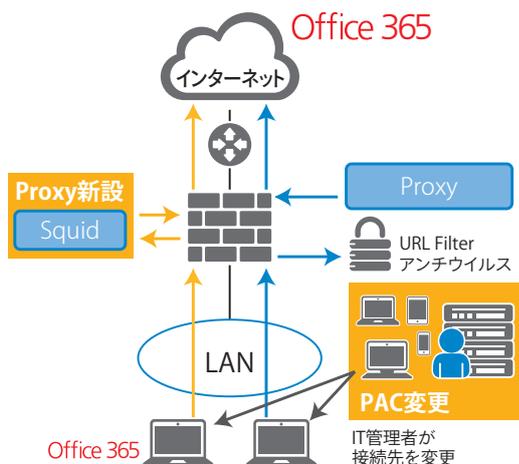
一つの案としては、プロキシ製品を性能の良いものに増強する方法です。インターネットへ出ていくすべてのトラフィックは従来通りこのプロキシ製品を通過していきます。このため、全トラフィックにセキュリティポリシーを強制することが可能です。しかし、これを行うためには、従来よりも増加したセッションを処理するために、より大容量の製品を購入する必要があり、投資額が増大することになります。



解決策: Proxy & DMZのアップグレード
メリット: トラフィックにセキュリティポリシーを適用
デメリット: 高額投資

改善案2: クライアント設定による経路変更

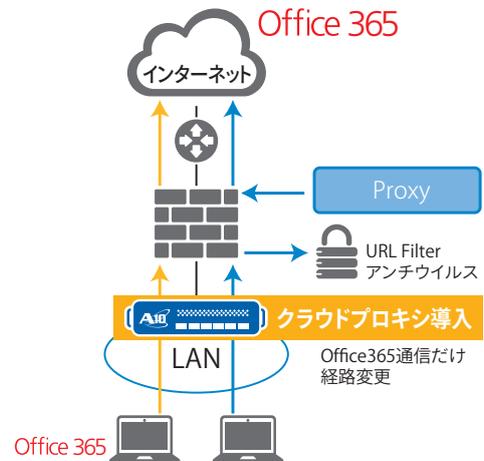
プロキシへの負荷集中を回避するために、クライアント側の設定を変更して、Office365のトラフィックは新たに増設したプロキシに転送し、その他の通信に関しては従来のプロキシ製品へ転送するように設定して、負荷を分散させることが可能です。これによりネットワークの構成変更を最小限にとどめて、負荷を分散させることが可能になります。しかし、この場合PACなどの仕組みを利用して、全てのクライアントにプロキシ設定を配布する必要があり、運用上はタスクが増加する点と、タブレットやスマートフォンなどのデバイスについての対応を検討する必要があります。



解決策: PAC等でクライアントの接続先変更
メリット: NWの構成に変更少
: 低コスト
デメリット: PAC等の運用負荷が増加
: タブレットやスマホの非対応

改善案3: クラウドプロキシの導入

クラウドプロキシを導入し、URLなどをキーとしてOffice 365の通信のみを経路変更することにより、既存プロキシの負荷を軽減します。ネットワークにクラウドプロキシを追加するだけでクライアント側の設定変更は不要、ネットワークの変更は最小となります。



解決策: クラウドプロキシを導入し経路変更
メリット: NWの構成に変更少
: 低コスト
: クライアント設定不要
: 豊富な実績

A10のクラウドプロキシソリューション

A10のThunderシリーズを利用して透過型の経路変更を行うことにより、パフォーマンスを確保しつつコストを抑えたOffice 365環境を構築することができます。A10が独自に開発した「A10 Harmony」プラットフォームは、共有メモリーアーキテクチャーを持っており、複数のコアを完全に独立した並列処理で動作させることができます。これにより、大量のセッション処理が可能となります。

Thunderシリーズのメリット:

1. 高いパフォーマンス:

A10 Harmonyプラットフォームにより、同価格帯の他社製品と比較してより多くのセッションを処理することができます。大量のセッション処理が必要となるOffice365のトラフィックを透過型で処理することが可能で、ストレスのない快適な利用環境を提供することができます。

2. 柔軟な構成:

N+1の構成が可能であるため、利用状況やユーザー数に応じて、柔軟に拡張が可能です。URLによるリダイレクト機能により、PACなどを利用してすべてのクライアントの設定を変更せずにトラフィックを制御することができます。

3. 追加コストなしで利用可能な付加機能:

経路負荷分散機能やファイアウォールの負荷分散機能など、すべての機能は標準搭載されているため、追加のコストなしで、すぐに利用することができます。

A10のThunderシリーズは、最新のマルチコアCPUとA10 Harmonyアーキテクチャーにより、大量のセッション処理が必要となるOffice 365のトラフィックの負荷に対応し、快適な利用環境を提供することができます。現在利用中のプロキシ製品も有効活用できるため、コストパフォーマンスの高い構成を用意することができます。A10のThunderシリーズを利用することにより、快適なOffice365環境を構築することができます。

A10 Networks / A10ネットワークス株式会社について

A10 Networks (NYSE: ATEN) はアプリケーションネットワーク分野におけるリーダーとして、高性能なアプリケーションネットワークソリューション群を提供し、お客様のデータセンターにおいて、アプリケーションとネットワークを高速化し可用性と安全性を確保しています。A10 Networksは2004年に設立されました。米国カリフォルニア州サンノゼに本拠地を置き、世界各国の拠点からお客様をサポートしています。

A10ネットワークス株式会社はA10 Networksの日本子会社であり、お客様の意見や要望を積極的に取り入れ、革新的なアプリケーションネットワークソリューションをご提供することを使命としています。

詳しくはホームページをご覧ください。

www.a10networks.co.jp

Facebook: <http://www.facebook.com/A10networksjapan>

A10ネットワークス株式会社

〒105-0001
東京都港区虎ノ門 4-3-20
神谷町MTビル 16階
TEL: 03-5777-1995
FAX: 03-5777-1997
jinfo@a10networks.com
www.a10networks.co.jp

海外拠点

北米 (A10 Networks本社)

sales@a10networks.com

ヨーロッパ

emea_sales@a10networks.com

南米

latam_salesl@a10networks.com

中国

china_sales@a10networks.com

香港

HongKong@a10networks.com

台湾

taiwan@a10networks.com

韓国

korea@a10networks.com

南アジア

SouthAsia@a10networks.com

オーストラリア/ニュージーランド

anz_sales@a10networks.com

お客様のビジネスを強化するA10のアプリケーションサービスゲートウェイ、Thunderの詳細は、A10ネットワークスのWebサイトwww.a10networks.co.jpをご覧ください。

Part Number: A10-cloud-20160822

Aug 2016

©2016 A10 Networks, Inc. All rights reserved. A10 Networks, A10ロゴ、A10 Thunder, ACOS, Thunder, Thunder ADC、は米国およびその他の各国におけるA10 Networks, Inc.の商標または登録商標です。その他上記の全ての商品およびサービスの名称はそれら各社の商標です。その他の商標はそれぞれの所有者の資産です。A10 Networksは本書の誤りに関して責任を負いません。A10 Networksは、予告なく本書を変更、修正、譲渡、および改訂する権利を留保します。製品の仕様や機能は、変更する場合がございますので、ご注意ください。